

「scar 傷跡」

2019年7月5日(金)～7日(日)

open: 10:00 - 19:00 free entry

at: void + alternative

(東京都港区南青山 3-16-14-1F)

着物服の展示、販売、オーダー受注

opening party

7月5日(金) 19:00 open 20:00 start

music charge ¥1,500

Sho Tatsuta (Compose, E.Pf)

Shota Enomoto (Nyckelharpa)

Kosuke Ito (Handpan)

Nagato Ai (Handpan)

Shun Kodama (KameleNgoni, Gt)

Aoi Yamada (Dance)

美しい布に鉄を入れる瞬間、刃が繊維を断ち切る音と手応えを感じながら、傷をつけているような罪悪感があります。

着物を解いて洋服に仕立て直すことを始めてから、たくさんの着物との出会いがありました。愛用されていた着物ほど多くの汚れや傷が残っていて、習慣や想い出の名残、筆筭の匂いから立ち上がる「何か」は、まるで着ていた人の幽霊と遭遇しているかのようです。

生きている間には避けられない別れや悲しみは、身体や心に傷跡を残したりしますが、古い着物が経てきた時間と柔らかくなった絹の感触は、似た者同士なのでしょうか、そっと寄り添うように優しく癒してくれます。

心地良い睡眠や休日に着物服がお役に立てると幸いです。

オープニングイベントに、稀代の才能あるミュージシャンとパフォーマーが集まって下さいました。

最高に特別なこの時間を、皆さまと共有できる、この唯一無二な奇跡に心から感謝します。

辰田翔 / Sho Tatsuta (Compose, E.Pf)

日本、アメリカ、ヨーロッパで作曲を学ぶ。

国内外でのコンテンポラリーアート、舞踏、CM、映画音楽、展示会、美術館でのインスタレーション、コレクション、ランウェイ用の音楽を作曲する

榎本翔太 / Shota Enomoto (Nyckelharpa)

スコットランドで少年期の8年間を過ごし、欧州クラシック教育を受けつつ、ダンス伴奏からポップス、ジャズまで広く経験する。2006年より Drakskip(ドレクスキップ)に所属し北欧の伝統音楽とニッケルハルパに出会う。同バンドで2012年と2014年にスウェーデンとフィンランドの音楽フェスティバルにて演奏。2014年、Fuji Rock Festival に出演。2015年からスウェーデンに1年間留学し、ニッケルハルパの奏法と文化への理解を深める。帰国後はニッケルハルパと北欧伝統音楽への理解を深めながらバンド活動や他ジャンルの音楽と触れ合う活動を継続している。

伊藤恒祐 / Kosuke Ito (Handpan)

ハンドパン奏者。ハンドパンは2000年にスイスのPANArt社によって開発された次世代型の金属楽器で、近年ヨーロッパを中心に爆発的に人気を誇る。2019年に日本人奏者で構成された初のハンドパンコンピレーションCDが発売になり、2曲参加。コンテンポラリーダンサーとのコラボやDJイベント、ヨガでの演奏など東京、逗子を拠点にマイペースに活動中。

愛 良人 / Nagato Ai (Handpan)

パーカッションリスト。今回ハンドパン奏者として特別参加。

兒玉 峻 / Shun Kodama (KameleNgoni, Gt)

from バセルバジョン

アコースティックギター、リゾネーターギター、アフリカンハーブと呼ばれるカメレンゴニなどを奏で、民族音楽からエフェクターを駆使した実験音楽まで、ありとあらゆる音を飲み込みながら弦の波動を伝えている。心象風景を描く独自のサウンドは、その地の空気とシンクロし、時には繊細に時には広大なアトモスフィアを創造する。自身のバンド「バセルバジョン」では、FUJI ROCK FESTIVAL '14を始め、大小様々なフェスに出演。また、オーストラリア、韓国、香港、ハワイでは、バスキングやライブ、レコーディングを敢行。2018年春、西アフリカ・マリ共和国にてカメレンゴニと出会い、現地ミュージシャンより手解きを受け新たな弦楽奏法を手にする。

アオイヤマダ / Aoi Yamada (Dance)

2000年長野県松本市生まれ。

幼少からダンスをはじめ2017年初頭 思想表現に目覚める。